



短い練習時間ながら、動作や台詞など自分で考え演じた宮沢賢治の童話「かわばやし」の野外劇。手づくりのキャンドルで灯された幻想的な森の舞台でいきいきと上演

### 里山の自然を満喫 森と風のがっこう

岩手子ども環境研究所（吉成信夫代表）主催の子ども自然エネルギーサマースクールは8月3日から12日までの9泊10日の日程で、上外川の森と風のがっこうで開かれました。

紫波町や久慈市など県内の5人を含め東京や千葉など関東各都県から小学校4年から6年までの14人が参加。森の環境整備や林業体験、自転車をこいでためたエネルギーで映画会を開くなどエコ生活を体験しました。

サマースクール最後の夜となった11日午後7時からは、地域の人々も招いて宮沢賢治の童話「かわばやし」の演劇を披露。森と風のがっこう裏の林の中は、自分たちで発電したキャンドルで幻想的な野外劇場となりました。参加した子どもたちは、10日間で友情を深めるとともに里山の自然生活を十分満喫しました。



「一度は挑戦してみたかった」と、初めての長い巻きすし5mが完成。円内は、子どもたちと一緒に作り上げた丸テーブルを公園に設置する商工会工業部会の皆さん

### 「まちなか」大にぎわい 24人で5mの巻きすし

まちなか活性化協議会（近藤慎一会長）が中心となって8月4日、まちなかおもしろフェスタが中央公園を主会場として開かれました。

会場では、「賑わい土曜日」のほか長〜い巻きすしづくりに老若男女24人がチャレンジ。息もぴったり合って5mの巻きすしが完成。会場から拍手がわき起こりました。また、「みんなで工場直送生ビールを飲もう!!」ビアガーデンには、前日までの猛暑で涼と交流を求める多くの人でにぎわいました。

### くずまきの酪農は安心だね ホルスタインベビESHOW

葛巻町乳牛改良同志会（八幡勝幸会長）と葛巻町ジュニアホルスタインクラブ（深澤大地会長）は8月11日、江刈共進会場で第5回ホルスタインベビESHOWを開きました。

牛の引きつけを学ぶリーディングスクールに続いて行われたベビESHOWに、第1部は生後10か月未満の牛7頭、続く第2部は10か月以上12か月未満の未経産牛9頭が出品。就学前のちびっ子からりりしい高校生までが慣れた手綱さばきでリード。「葛巻の酪農の未来は安心だね」と、家族やお盆の帰省客などが見守りました。審査の結果第1部は大上一雄さん、第2部は中村優さんの出品牛がそれぞれ1席に輝きました。



就学前のちびっ子も大人顔負けのリーディングを披露し、真剣に競ったベビESHOW

### たくさん売れました 特等の夢に長蛇の列

「特等は液晶テレビ、ハズレなしの大抽選会」。町商工会商業部会の連合大売り出し抽選会が8月26日、商工会館前で行われました。朝8時前から多くの人詰めかけ、受付を待ちました。想定外の人出に予定時間を繰り上げての受付開始。午前11時半の受付終了時には商工会館前から大橋付近まで老若男女約800人の長蛇の列ができました。

「想像以上の大盛況にびっくり。半月間の売り出し期間中こんなに売れました」と、商工会関係者は抽選会の大忙しの中にもうれしい悲鳴。炎天下、約4,500回の抽選を待つ人たちは「待ち時間を減らす工夫してほしい」とお疲れの様子。抽選の結果、特等の液晶テレビは波紫フミさん（62・茶屋場）が獲得しました。



商工会館前から大橋までずらりと並んだ連合大売り出し抽選会。円内は、液晶テレビが当たりますようにと願いを込める参加者たち

### 常に備えは万全です!! 消防団が水防工法訓練

9月1日の防災の日を前にした8月26日、町消防団の水防工法訓練が葛巻小学校校庭で行われました。

盛岡中央消防署葛巻分署員が「積み土のう工法」や「木流し工法」、「シート張り工法」などを説明した後、早速実践しました。

現場にあるものを使って災害を食い止める方法や水の勢いに臨機応変に対応する技を学びました。参加した団員は「昨年の災害で日ごろの訓練が大切であることを実感した。訓練を重ねて常にいざというときに備えたいですね」と訓練の重要性を語っていました。



木流し工法で利用する二子縄などをつくる団員

### すようなごどで

デイビッド・マナーリオ  
(指導主事助手・29歳)

### 森風の夜

八月十一日、森と風のがっこうで開かれています。くずまき・子ども自然エネルギーサマースクールに参加している子どもたちが演じる宮沢賢治の童話「かわばやし」の演劇を見に行きました。

参加している子どもたちの多くは関東地方から来ていて葛巻の子どもたちに比べ、外向的だと感じました。都会育ちと田舎育ちの違いではないかと思いました。演劇の練習はたったの一日。台詞を全部覚えるには少ない時間だったようで、台本を見ながらの場面もありましたが、動作や役割などは子どもたち自身で考えたそうです。

演劇が終わった後は全員で合唱。子どもたちは名残惜しそうちに三曲続けて歌い、演劇時間と同じくらいの時間が過ぎました。「サマースクールも明日が最終日」と代表の吉成さんが言ったとたんに、一人の男の子が寂しそうな表情を浮かべ、別れを惜しんでいるようでした。

演劇はテレビカメラで撮影され、十月にドキュメンタリー番組として放送されるそうです。時間があれば見てください。必ず知っている人がいます。

今年も夏祭りの花火を見ました。去年の反省を踏まえ後方に座って見ましたので、首は疲れませんでした。これから九月の秋祭りを楽しみにしています。

この文章は、デイビッドさんが日本語で書いています。